

原子力学会中国・四国支部 出前授業

中国・四国支部では、原子力への理解活動を目的に、原子力に関する出前授業を行います。

ご興味のある方は、以下の要領でお問い合わせください。

(問合せ先：263726@pnet.energia.co.jp (山本)、186427@pnet.energia.co.jp (内村))

<出前授業開催までの流れ>

- ① 以下の出前授業の希望について、所属・団体、連絡先、開催時期・場所（オンラインか否か）とともに、上記問合せ先までメールをお願いします。
- ② 担当講師より連絡がありますので、具体的な内容をご調整ください。
- ③ 当日、ご参加いただいた方に簡単なアンケート（匿名）へのご協力をお願いしております。

● 出前授業一覧

【1】 放射線とは

担当：遠藤 暁（広島大学）、梶本 剛（広島大学）、佐藤 治夫（岡山大学）、寺東 宏明（岡山大学）、西山 祐一（徳島大学）

内容：放射線の基礎や人体への影響（被ばくの影響）などを初心者にもわかりやすく説明する。

備考：講義、オンライン可

【2】 霧箱で放射線を見てみよう

担当：遠藤 暁（広島大学）、梶本 剛（広島大学）

内容：霧箱を使って放射線を見てもらい、放射線についての知識を深める。

備考：実験、オンライン不可

【3】 身の周りの放射線を測ってみる

担当：遠藤 暁（広島大学）、梶本 剛（広島大学）、寺東 宏明（岡山大学）

内容：講義と日用品等に含まれる放射能を計測することで、我々の身の回りにある放射線の理解を深める。

備考：講義・実習、オンライン不可

【4】 放射線防護のはなし

担当：占部 逸正（福山大学名誉教授）

内容：社会とそこに暮らす人々の生活に放射線を役立てることは可能です。しかし同時に使い方を誤ると大きな損害をもたらします。どのようにしてバランスをとるのか、放射線の種類と相互作用、放射線の量の表現、放射線の利用と放射線防護などについて解説します。

備考：講義、オンライン可

【5】 ウランについて

担当：佐藤 治夫（岡山大学）

内容：地球誕生以来、地殻や海水中など、身の回りにはウラン（U）が存在し、長い年月の中で移動することで、特定の場所に濃集し、天然中で原子炉ができたりと様々なことが起こってきた。また、半減期の違いにより同位体比が変化してきた。天然中での U の挙動について概説する。初心者から専門家まで対応可。

備考：講義、オンライン可

【6】 放射性廃棄物について

担当：佐藤 治夫（岡山大学）

内容：原子力関連施設、医療施設、一般研究施設などから発生する放射性廃棄物の種類や区分、処分方法の概要について説明する。初心者から専門家まで対応可。

備考：講義、オンライン可

【7】 岡山大学アイソトープセンターの見学

担当：寺東 宏明（岡山大学）

内容：岡山大学アイソトープセンターを見学する。センターでできる模擬実験等のご要望にも対応可。

備考：実験・見学、現地集合（岡山大学アイソトープセンターには自費でお越してください）、オンライン不可

【8】 我が国のエネルギー資源とウランのふるさと人形峠

担当：八木 直人、神崎 訓枝、迫田 晃弘（日本原子力研究開発機構）

内容：我が国で初めてウラン鉱床が発見され、その後、核燃料開発のフロントランナーを務めた人形峠環境技術センター。初心者にも分かりやすく、我が国のエネルギー利用の変遷と人形峠の役割等について解説します。

会場：お申し込みされる団体でご準備ください。ご希望であれば、人形峠環境技術センターもしくはサテライトオフィス「ふらっと」（岡山県鏡野町）での開催も可能です。

備考：講義、オンライン可、4～5名以上のグループに対応可



人形峠環境技術センターの航空写真

【9】 人形峠環境技術センターの見学

担当：八木 直人、神崎 訓枝、迫田 晃弘（日本原子力研究開発機構）

内容：我が国で現存する唯一のウラン探鉱坑道を見学していただき、事業所構内を一巡します。

天然の状態で存在するウラン鉱床を直接ご覧いただけます。

見学可能日等：

【平日の施設見学】

- ・期日 4月～11月までの水・木曜日
- ・時間 10：00～11：00 もしくは 14：00～15：00
- ・見学コース 概況説明/構内一巡（屋外のみ）/見学坑道
- ・参加可能人数 1～30名程度

【休日の施設見学】〔4月～11月までの毎月1回（日曜日）〕

- ・期日 日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターホームページをご覧ください。
<https://www.jaea.go.jp/04/zningyo/profile1001.html>
- ・時間 10：00～12：00
- ・見学コース 概況説明/構内一巡（濃縮工学施設/ウラン濃縮原型プラント/製錬転換施設/鉱さいたい積場）/見学坑道
- ・参加可能人数 1～8名

集合場所：人形峠旧展示館

備考：見学、オンライン不可、入構時に顔写真入り公的身分証明書が必要です。



概況説明の様子



ウラン探鉱坑道見学の様子

【10】 原子と原子核の基礎知識

担当：松岡 雷士（広島工業大学）

内容：放射線や原子力について深く知るためには、まず原子や原子核に関する基礎的な用語の知識が必要です。本講義では原子や原子核の構造や仕組みについて、周期表を出発点とし、数式を使わずにイラストを用いて解説します。

備考：講義、オンライン可

以上